

2022 年度「学修成果等アンケート」分析結果

IR 推進本部長

1. アンケート概要

(1) 調査目的

学生の学修時間、成長実感・満足度及び学修に対する意欲等を継続的に把握し、学修成果及び教育成果を可視化することにより、学生が自身の学修内容や成果を振り返り次の学びに繋げるため、また、次年度以降の教育改善を図るために実施した。

(2) 調査対象

全学部在学学生

(3) 実施期間

2022 年 11 月 28 日(月) ～ 12 月 10 日(土)

(4) 調査方法

実施期間中の任意の時間に manaba にログインし、「学生 manaba Information」の「アンケート」から回答させた。

(5) アンケート項目

1. 学部(学科)を選択してください。
2. 学年を選択してください。

問1 大学に入ってから受けた授業で、次の項目はどのくらいありましたか
(選択肢:①よくあった、②ある程度あった、③あまりなかった、④なかった)

3. 授業内容の意義や必要性を十分に説明してくれた。
4. 予習・復習などの自主学習について授業やシラバスで指示があった。
5. 教員以外にアシスタントなどが配置され、補助的な指導があった。
6. 宿題、レポートなどの授業時間外に自ら行う課題が出された。
7. 課題等の提出物に適切なコメントが付されて返却された。
8. グループワークやグループディスカッションの機会があった。
9. 質疑応答など、教員等との意見交換の機会があった。
10. LMS(manaba、respon、Zoom 等)を活用した授業があった。

問2 大学在学中に次のような経験はありましたか。また、その経験は有用でしたか。

(選択肢:①経験があり有用だった、②経験がありある程度有用だった、③経験したがあまり有用ではなかった、④経験したが有用ではなかった、⑤経験していない)

11. 大学生活全般について相談する機会
12. 大学での学習の方法(スタディ・スキル)を学ぶ科目
13. 【4年生のみ回答】研究室やゼミなどでの大学教育の集大成と位置付けられる教育
14. 概ね 20 名程度以下のクラスサイズで実施される少人数教育
15. 授業時間以外で、教員に質問や学習の方法を相談する機会
16. 授業時間以外で、他の学生と一緒に学習する機会
17. キャリアに関する科目、キャリアカウンセリング(就職・進学相談)

18. 5日間以上のインターンシップ
19. 海外留学・海外研修
20. 海外の大学等が提供するオンライン授業(オンライン留学)
21. 学内で自分と異なる文化圏の学生と交流する機会
22. 図書館やアクティブ・ラーニングスペースなど大学施設を活用した学習
23. 語学科目以外の主に英語で行われる授業の履修

問3 大学教育を通じて、次のような知識や能力などが身に付いたと思いますか。

(選択肢:①身に付いた、②ある程度身に付いた、③あまり身に付いていない、④身に付いていない)

24. 専門分野に関する知識・理解
25. 将来の仕事につながるような知識・技能
26. 文献・資料を収集・分析する力
27. 論理的に文章を書く力
28. 人に分かりやすく話す力
29. 外国語を使う力
30. 数理・統計・データサイエンスに関する知識・技能
31. 問題を見つけて解決方法を考える力
32. 多様な人々の理解を得ながら協働する力
33. 自らの専門分野に限定されない、文理を超えた幅広い知識、ものの見方
34. 異なる文化に関する知識・理解
35. 知識やスキルを活用して一つのものをつくり出す力
36. 社会に対する理解や社会的責任

問4 これまでの大学での学び全体を振り返って、次の項目についてどのように思いますか。

(選択肢:①そう思う、②ある程度そう思う、③あまりそうは思わない、④そうは思わない)

37. 大学が学生に卒業時まで身に付けることを求めている力(※)を理解している。

※ディプロマ・ポリシーに示された知識・能力

38. 授業アンケート等の学生の意見を通じて大学教育が良くなっている。

39. 教員が学生と向き合って教育に取り組んでいる。

40. 大学での学びによって自分自身の成長を実感している。

問5 今年度後期の授業期間中の平均的な1週間(7日間)の生活時間は、それぞれどのくらいですか。

(選択肢:①3時間以上、②2時間以上3時間未満、③1時間以上2時間未満、④30分以上1時間未満、⑤30分未満)

41. 授業への出席 ※実験・実習、オンライン授業を含む

42. 【4年生のみ回答】卒業論文・卒業研究・卒業制作

43. 予習・復習・課題など授業に関する学習 ※卒業論文等は除く

44. 授業の予習・復習・課題以外の学習 (学問に関係する読書やディスカッション、実技の練習、資格試験の勉強等)

45. 部活動／サークル活動

問6 本調査や、大学での学びについて意見がありましたら教えてください。(自由記述)

2. 回収率について

(1) 学年別(全体)

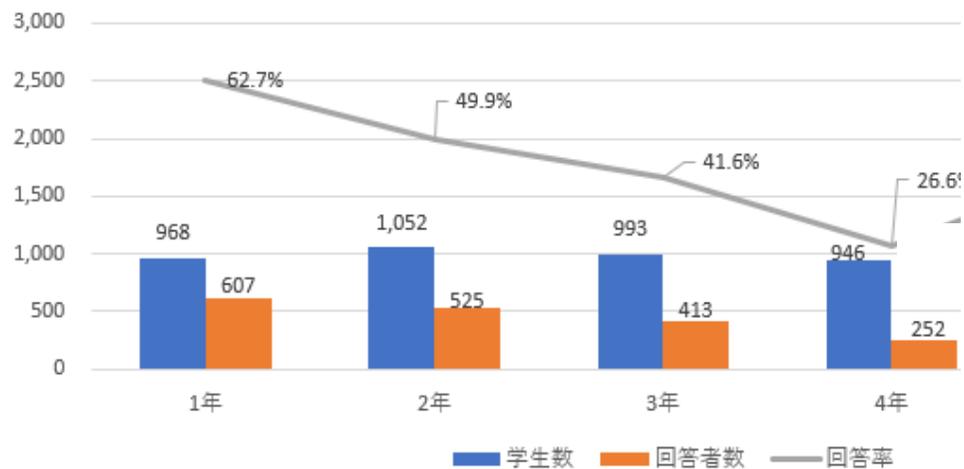
①1年生: 62.7%(607/968)

②2年生: 49.9%(525/1052)

③3年生: 41.6%(413/993)

④4年生: 26.6%(252/946)

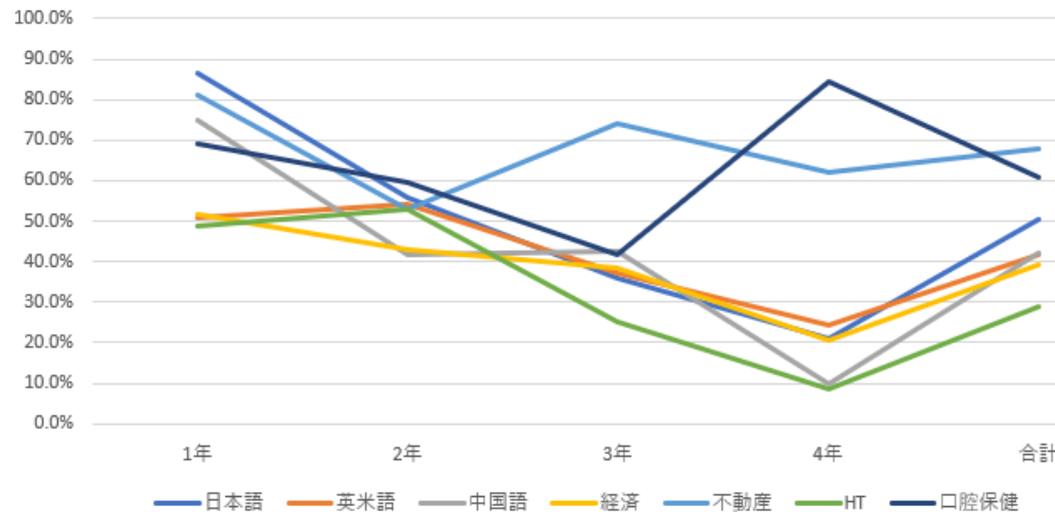
計 45.4% (1797/3959)



☛ 1年生が62.7%と高く、学年が上がるにつれて回収率は明らかに減少する(4年生の26.6%は1年生の半分以下)

(2)学科別(学年別)

学科	1 年生	2 年生	3 年生	4 年生	計
① 日本語	86.4% (70/81)	55.8% (53/95)	36.0% (27/75)	21.0% (17/81)	49.8%
② 英米語	50.8% (63/124)	54.0% (87/161)	37.1% (62/167)	24.2% (32/132)	41.5%
③ 中国語	75.0% (30/40)	41.5% (22/53)	42.6% (20/47)	10.0% (4/40)	42.3%
④ 経済	51.8% (175/338)	43.1% (152/353)	38.6% (115/298)	20.5% (59/288)	38.5%
⑤ 不動産	81.2% (168/207)	52.9% (100/189)	74.2% (115/155)	61.8% (94/152)	67.5%
⑥ HT	48.6% (52/107)	52.7% (68/129)	25.3% (47/186)	8.6% (19/221)	33.8%
⑦ 保健	69.0% (49/71)	59.7% (43/72)	41.5% (27/65)	84.4% (27/32)	63.6%
	62.7%	49.9%	41.6%	26.6%	45.4% (1797/3959)



- 学科別では 33.8～67.5%と差が大きく、不動産学部の回収率が高くまた学年間での差も比較的少ない
(保健の4年生が84.4%と高かったが、調査時期(11/28～12/10)が卒業試験間際で出席率が高かったためと思われる:見かけ上)

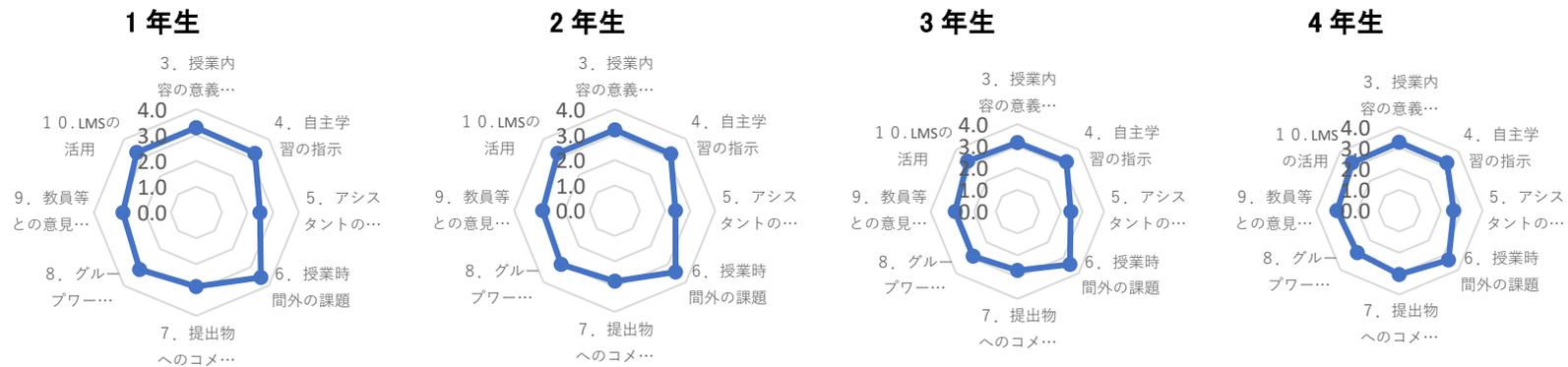
3. 調査結果について:

(1)【全体:学年別】

問1:大学に入ってから受けた授業で、次の項目はどのくらいありましたか。

3:授業内容の意義や必要性を十分に説明された、4:自主学習について指示があった、5:アシスタントが付いた、6:授業時間外の課題、7:提出物の適切なコメント、8:グループワーク、9:教員との意見交換、10:LMS(manaba, resupon, Zoom)の活用

・よくあった(4点)、ある程度あった(3点)、あまりなかった(2点)、なかった(1点)での平均値(4段階)を記載



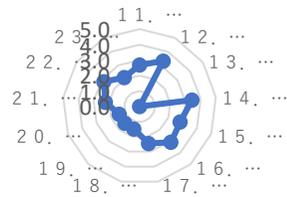
- 学年間の差はみられなかったが、項目別では「3:授業内容の意義や必要性を十分に説明された」は平均が3.20であった。また「5:アシスタントが付いた」授業が各学年で少なく平均が2.48と一番低かったが、一方、「10:LMSの活用」は平均で3.26と各学年で高かった。

問2: 大学在学中に次のような経験はありましたか。また、その経験は有用でしたか。

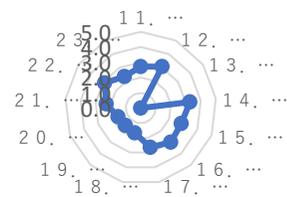
11: 大学生活全般について相談する機会、12: 大学での学習の方法(スタディ・スキル)を学ぶ科目、13: 研究室やゼミなどでの大学教育の集大成と位置付けられる教育(4年のみ)、14: 概ね 20 名程度以下のクラスサイズで実施される少人数教育、15: 授業時間以外で、教員に質問や学習の方法を相談する機会、16: 他の学生と一緒に学習する機会、17: キャリアに関する科目、キャリアカウンセリング(就職・進学相談)、18: 5日間以上のインターンシップ、19: 海外留学・海外研修、20: 海外の大学等が提供するオンライン授業、21: 自分と異なる文化圏の学生と交流する機会、22: 自分と異なる文化圏の学生と交流する機会、23: 語学科目以外の主に英語で行われる授業の履修

・有用であった(5点)、ある程度有用(4点)、あまりなかった(3点)、有用でなかった(2点、経験がなかった(1点))での平均値(5段階)を記載

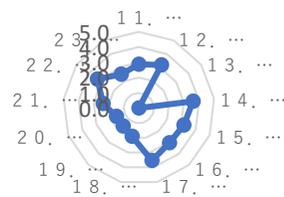
1年生



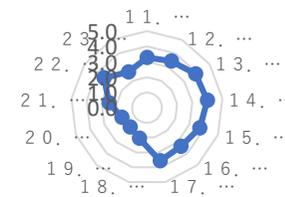
2年生



3年生



4年生



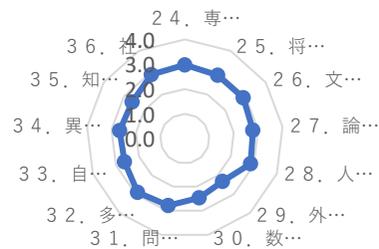
- 一番低いのは「20: 海外の大学等が提供するオンライン授業」で全体の平均 1.59 であり、一番高かったのは「14: 概ね 20 名程度以下のクラスサイズで実施される少人数教育」で 1 年生、2 年生、3 年生、4 年生で 3.44, 3.28, 3.60, 4.00 であった。

問 3: 大学教育を通じて、次のような知識や能力などが身に付いたと思いますか

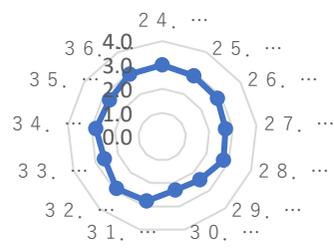
24: 専門分野に関する知識・理解、25: 将来の仕事につながるような知識・技能、26: 文献・資料を収集・分析する力、27: 論理的に文章を書く力、28: 人に分かりやすく話す力、29: 外国語を使う力、30: 統計・データサイエンスに関する知識・技能、31: 問題を見つけて解決方法を考える力、32: 多様な人々の理解を得ながら協働する力、33: 文理を超えた幅広い知識、ものの見方、34: 異なる文化に関する知識・理解、35: 知識やスキルを活用して一つのものをつくり出す力、36: 社会に対する理解や社会的責任

・身についた(4点)、ある程度あった(3点)、あまりなかった(2点)、なかった(1点)での平均値(4段階)を記載

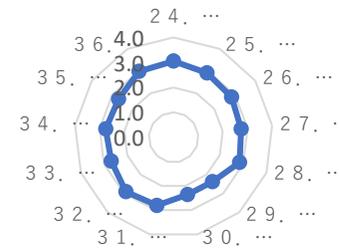
1年生



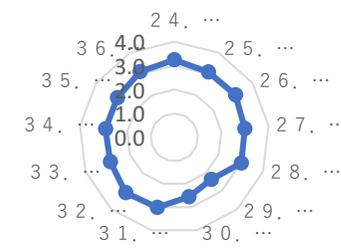
2年生



3年生



4年生

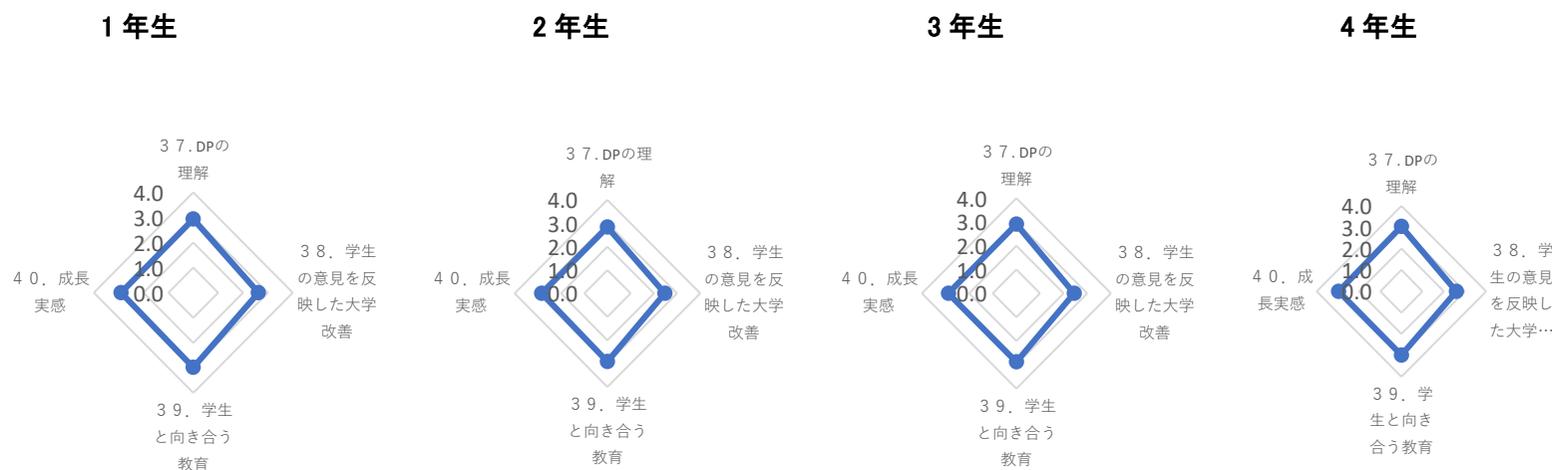


☛ 24~35 に関する質問に対して 1 点台の低い値はなく、2.4~3.1 までの範囲であり、学年間での差はみられなかった。

問 4:これまでの大学での学び全体を振り返って、次の項目についてどのように思いますか。

37: 大学が学生に卒業時まで身に付けることを求めている力を理解している、38: 授業アンケート等の学生の意見を通じて大学教育が良くなっている、39: 教員が学生と向き合って教育に取り組んでいる、40: 大学での学びによって自分自身の成長を実感している

・そう思う(4点)、ある程度思う(3点)、あまり思わない(2点)、思わない(1点)での平均値(4段階)を記載

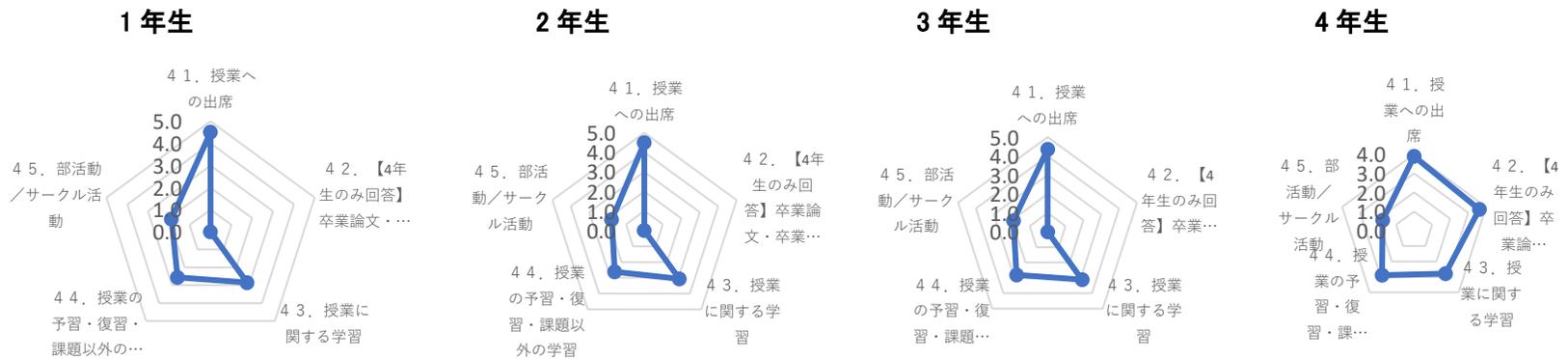


☛ 37~40 に関する質問に対して 1 点台の低い値はなく、2.5~3.0 までの範囲であり、学年間でも差はみられなかった。

問 5: 今年度後期の授業期間中の平均的な1週間(7日間)の生活時間は、それぞれどのくらいですか。

41: 授業への出席 ※実験・実習、オンライン授業を含む、42: 卒業論文・卒業研究・卒業制作(4年生のみ)、43: 予習・復習・課題など授業に関する学習(卒業論文等は除く)、44: 授業の予習・復習・課題以外の学習、45: 部活動/サークル活動

・3時間以上(5点)、2~3時間(4点)、1~2時間(3点)、30~60分(2点、30分未満(1点))での平均値(5段階)を記載



☛ 一番低いのは「45: 部活サークル活動」で 1.87, 1.77, 1.91, 1.75 で(平均: 1.85)あり、一方高いのは「41: 授業への出席」は 4.51, 4.49, 4.36, 3.89(平均: 4.31)であった。4年生の「42: 卒業論文・卒業研究・卒業制作」は 3.89 と高値で、卒業に向けての熱心が伝わる結果である。

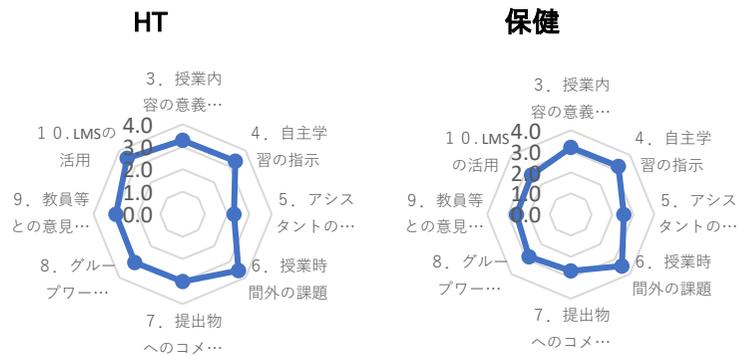
(2) 【全体:学部別】

問 1:大学に入ってから受けた授業で、次の項目はどのくらいありましたか。

3:授業内容の意義や必要性を十分に説明された、4:自主学習について指示があった、5:アシスタントが付いた、6:授業時間外の課題、7:提出物の適切なコメント、8:グループワーク、9:教員との意見交換、10:LMS(manaba, resupon, Zoom)の活用

・よくあった(4点)、ある程度あった(3点)、あまりなかった(2点)、なかった(1点)での平均値(4段階)を記載





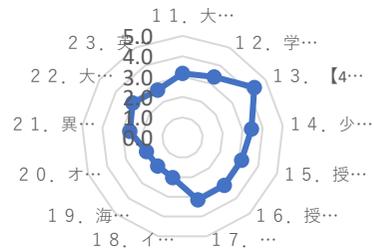
- ☛ 「6:授業時間外の課題」が外国語、経済、不動産、HT、保健で 3.47, 3.41, 3.45, 3.54, 3.47(平均:3.47)とどの学部においても高い。「3~10」に関する学部間の差はみられない。

問 2: 大学在学中に次のような経験はありましたか。また、その経験は有用でしたか。

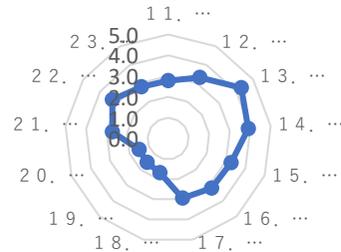
11: 大学生生活全般について相談する機会、12: 大学での学習の方法(スタディ・スキル)を学ぶ科目、13: 研究室やゼミなどでの大学教育の集大成と位置付けられる教育(4 年のみ)、14: 概ね 20 名程度以下のクラスサイズで実施される少人数教育、15: 授業時間以外で、教員に質問や学習の方法を相談する機会、16: 他の学生と一緒に学習する機会、17: キャリアに関する科目、キャリアカウンセリング(就職・進学相談)、18: 5日間以上のインターンシップ、19: 海外留学・海外研修、20: 海外の大学等が提供するオンライン授業、21: 自分と異なる文化圏の学生と交流する機会、22: 自分と異なる文化圏の学生と交流する機会、23: 語学科目以外の主に英語で行われる授業の履修

・有用であった(5 点)、ある程度有用(4 点)、あまりなかった(3 点)、有用でなかった(2 点、経験がなかった(1 点))での平均値(5 段階)を記載

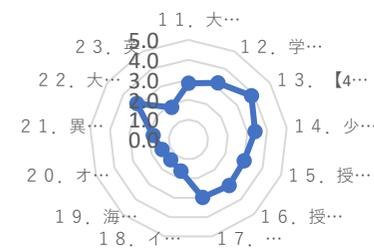
外国語



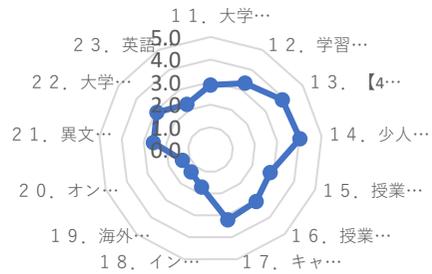
経済



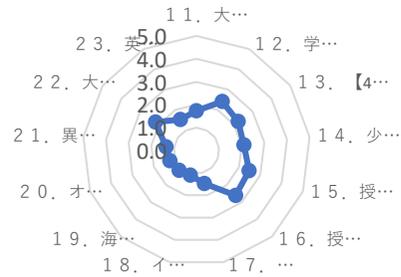
不動産



HT



保健



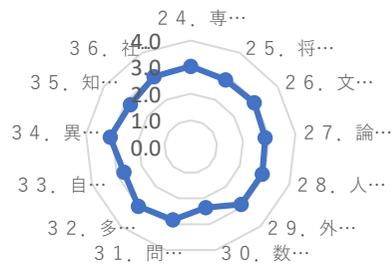
- ☛ 「2) 大学在学中～」は全体でみると保健で平均が 1.79 と小さく、一番値の大きい外国語の 3.08 とは大きな差が生じた。さらに保健は「17: キャリア」～「21: 異なる文化圏の学生との交流」で全て 1 点台と低い。「17: キャリア」、「18: インターンシップ」に関しては就職状況が他学部とは異なる事が要因かもしれない。また「21: 異なる文化圏の学生との交流」が低いのは留学生がいない事と保健の立地が影響していると思われる。

問 3: 大学教育を通じて、次のような知識や能力などが身に付いたと思いますか

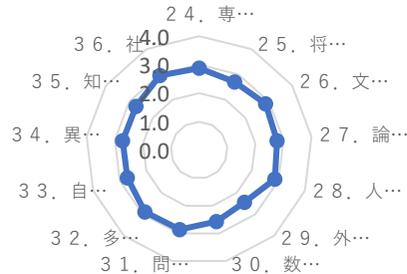
24: 専門分野に関する知識・理解、25: 将来の仕事につながるような知識・技能、26: 文献・資料を収集・分析する力、27: 論理的に文章を書く力、28: 人に分かりやすく話す力、29: 外国語を使う力、30: 統計・データサイエンスに関する知識・技能、31: 問題を見つけて解決方法を考える力、32: 多様な人々の理解を得ながら協働する力、33: 文理を超えた幅広い知識、ものの見方、34: 異なる文化に関する知識・理解、35: 知識やスキルを活用して一つのものをつくり出す力、36: 社会に対する理解や社会的責任

・身についた(4点)、ある程度あった(3点)、あまりなかった(2点)、なかった(1点)での平均値(4段階)を記載

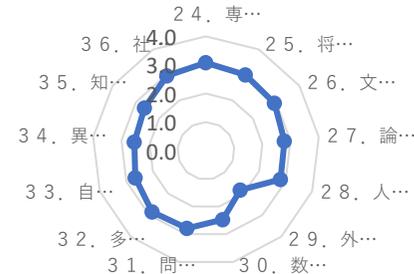
外国語



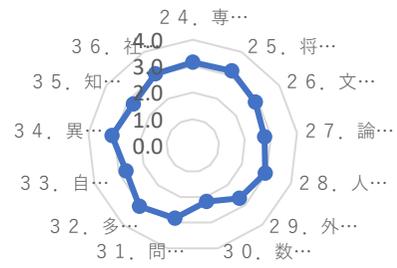
経済



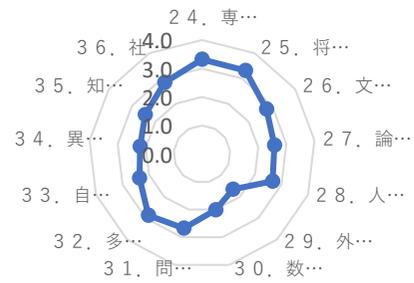
不動産



HT



保健

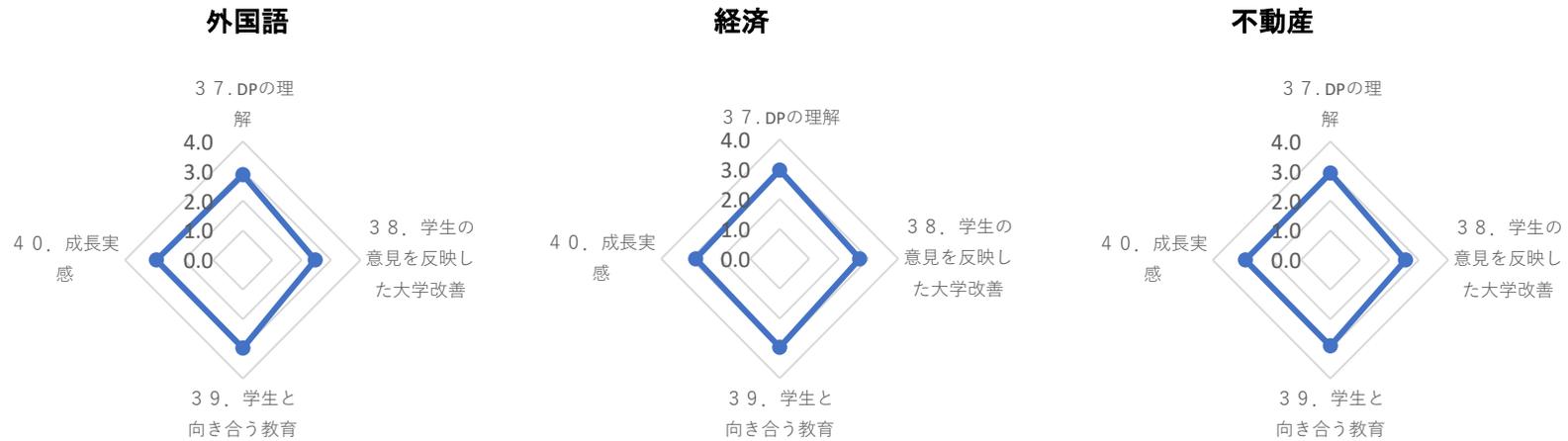


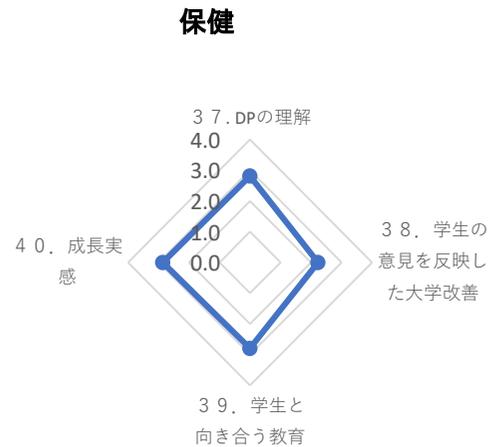
- 「29:外国語を使う力」において不動産、保健が1.83, 1.65と1点台で低く、外国語、経済、HTの2.89, 2.43, 2.67に比べて差が生じた。どちらかというと理系と文系の差かもしれない。

問 4:これまでの大学での学び全体を振り返って、次の項目についてどのように思いますか。

37:大学が学生に卒業時まで身に付けることを求めている力を理解している、38:授業アンケート等の学生の意見を通じて大学教育が良くなっている、39:教員が学生と向き合って教育に取り組んでいる、40:大学での学びによって自分自身の成長を実感している

・そう思う(4点)、ある程度思う(3点)、あまり思わない(2点)、思わない(1点)での平均値(4段階)を記載



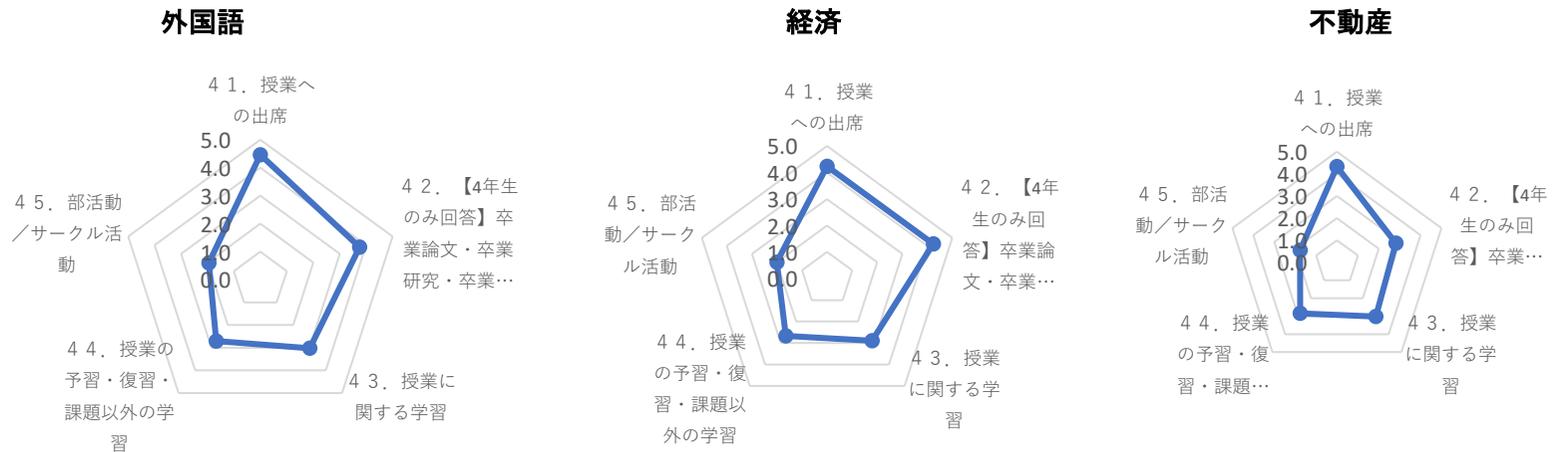


☛ 全体で見た平均値は外国語、経済、不動産、HT、保健でそれぞれ 2.81, 2.87, 2.87, 2.96, 2.67 であり、学部間での差はみられなかった。

問 5: 今年度後期の授業期間中の平均的な1週間(7日間)の生活時間は、それぞれどのくらいですか。

41: 授業への出席 ※実験・実習、オンライン授業を含む、42: 卒業論文・卒業研究・卒業制作(4年生のみ)、43: 予習・復習・課題など授業に関する学習(卒業論文等は除く)、44: 授業の予習・復習・課題以外の学習、45: 部活動／サークル活動

・3時間以上(5点)、2～3時間(4点)、1～2時間(3点)、30～60分(2点、30分未満(1点))での平均値(5段階)を記載





- 全体で見た平均値は外国語、経済、不動産、HT,保健でそれぞれ 3.05, 2.99, 2.98, 2.96, 2.83 と学部間では差はみられない。しかし項目別でみると、「42:卒業研究・論文」で、3.75, 4.24, 2.82, 3.95, 4.65 と 2 点台(不動産)~4 点台(経済、保健)と学部間での差がみられた。「45:部活サークル活動」は学部別では 1.95, 2.01, 1.76, 1.66, 1.33 と低く学部間で若干の差があった。